第２回　意見交換会

目的：復職・就労支援コーディネーターの顔の見える関係性の構築
　　長期的な視点で復職、就労支援を捉え、地域の支援事業所、制度の活用など、継続的に支援できる体制の構築
　　グループワークを通して、支援者としての視点を獲得でき、実践力を身につける
開催日：2025 年９月１日
テーマ：①自分自身が障害者になったら
　　②障害者と一緒に働く際の具体的な支援方法（可能性を探す）
参加者：16 病院　×　３名（看護・連携・リハ）
　　むすびプロジェクトメンバー　　合計：６２名







参加者の声

●「自身が障害を持ったら」や「自分が患者だったら」という
テーマで考えたことで、患者の気持ちや不安をより
具体的に、そして深く理解できた

●多職種間でそれぞれの専門的な視点の違いを認識し、
情報共有の重要性を再確認ができた
また、同じ職種の中でも考え方が異なることを知ることができ
新たな気づきや共感を得ることができたよ